

各位

会社名 株式会社STG
代表者名 代表取締役社長 佐藤 輝明
(コード: 5858 TOKYO PRO Market)
問合せ先 常務取締役管理本部長 白井 芳弘
TEL 072-928-0212
URL <https://www.stgroup.jp/>

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、2023年5月12日に公表した2024年3月期（2023年4月1日～2024年3月31日）の業績予想を修正することとしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正

2024年3月期通期連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 5,560	百万円 333	百万円 292	百万円 224	円 銭 270.79
今回修正予想（B）	5,220	278	290	195	235.74
増減額（B-A）	△340	△55	△2	△29	—
増減率（%）	△6.1	△16.5	△0.7	△12.9	—
（参考）前期実績 （2023年3月期）	4,684	196	285	191	231.53

2. 修正の理由

為替レートが円安で推移していることに加え、2021年3月末に買収したマレーシア子会社における生産効率改善が奏功しているものの、主力のマグネシウムダイカスト事業におけるタイ子会社の大幅増産過程において2023年5月に設備トラブル等が発生したことにより同年9月まで生産量が減少していたことや、日本におけるマグネシウムダイカスト生産において一部自動車部品の量産開始時期の遅れや、中国国内の景況感悪化に伴う受注減などもあり、売上高が前回発表予想より340百万円減少し5,220百万円となる見込みです。

なお、タイ子会社における生産設備トラブルは2023年9月に解消し、増産のための設備増設も同年10月に完了しております。

営業利益につきましては、タイ子会社の設備トラブルに対応するため一部製品の生産を日本で代替したことにより輸送費や関税などが増加したことを主因として、前回発表予想より55百万円減少し278百万円となる見込みです。

経常利益につきましては、営業利益が減少するものの、円安による為替差益発生などにより前回発表予想より2百万円減少し290百万円となる見込みです。

親会社株主に帰属する当期純利益は、上記に加え、マレーシア子会社における同国での設備投資にかかる税制や、資産負債の為替換算替えに伴い発生した未実現為替差損益に関する税制等に

より、繰延税金負債が増加し、法人税等の負担率が想定よりも高くなったこと等から、前回発表予想より29百万円減少し195百万円となる見込みです。

(注) 上記の業績予想数値は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上